

第46回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時：令和6年3月8日14:00～16:00
- 場 所：兵庫県医師会館2階大会議室
- 出席委員：飯島 一誠（兵庫県周産期医療協議会会長）
白井 里佳（兵庫県愛育連合会会長）
大西 祥男（兵庫県病院協会副会長）
笠井 秀一（兵庫県薬剤師会会長）
橋本 芳紀（兵庫県歯科医師会会長）
多田 雅史（全国健康保険協会兵庫支部支部長）
太城 力良（兵庫医科大学理事長）
丸山 美津子（兵庫県看護協会会長）
高橋 玲比古（兵庫県民間病院協会副会長）
橋本 加代（兵庫県栄養士会会長）
橋本 寛（兵庫県医師会副会長）
- 欠席委員：島 正之（兵庫医科大学教授）
中村 文代（兵庫県消費者団体連絡協議会会長）
登里 倭江（兵庫県いずみ会会長）
浜上 勇人（兵庫県町村会）
深井 光浩（兵庫県精神科病院協会会長）
眞庭 謙昌（神戸大学医学部附属病院院長）

●次 第

1 開会

2 保健医療部長挨拶

3 議事と結果

（1）議決事項

①第8次兵庫県保健医療計画改訂について

阪神圏域の二次医療圏について、医療圏統合後も、病床移動や病院統合などの重要な案件については、時間をかけて議論を行う必要がある。保健医療圏域の設定については、今後も引き続き議論していくことを含め、令和6年4月に公表する保健医療計画の最終案が説明され、全会一致で承認を得た。

4 議決事項についての主なやりとり

○議決事項 (1) - ①

委員：以前から阪神の二次医療圏について問題提起をしており、南と北の医療圏が統合されたが、今でも地域医療構想会議など、別々に実施されている点がある。

また、病床移動や病院統合などの重要な案件については、統合医療圏としての議論がまだ十分できていないと思っている。今後、この地域の統合再編等が複数予定されていると思うため、患者さんの動き等も今後あるかと思う。第8次保健医療計画の二次医療圏については、引き続き時間かけて議論していただきたい。

事務局：二次医療圏の設定の考え方については、今回の見直しに合わせ、多くの意見をいただいた。

計画案の7ページに、二次医療圏の考え方や課題について記載しており、各圏域において他圏域の患者の流出状況を挙げている。特に、阪神北圏域については、阪神南のエリアに大きな医療機関が集中していることから、患者が南エリアに流入していることが、前回の改定以降続いているため、今回の改定に合わせて8圏域を維持する形で案を作成した。患者の流出入の動きを見た上で、また圏域のあり方については引き続き状況を注視していく記載をしたが、その上でもう少ししっかりと議論すべきではないか、との意見をいただいた。保健医療圏域の設定の考え方については、各方面のご意見をいただき、時間をかけて議論しなければならないと考えている。また、4月以降どういった議論の進め方をするのか、相談させていただきながら検討していきたい。